



市 整 会

会 報

大阪市立大学整形外科開業医会

No.58 2017年7月15日発行

医療法人 天野クリニック
〒534-0002 大阪市都島区大東町2-5-24
TEL06-6927-7500 FAX06-6922-9974

巻頭言

市整会副会長 馬野 隆信 (昭和58年入局)

暑中お見舞い申し上げます。

平成28年6月の市整会総会から副会長に就任致しました。天野会長、増田副会長と共に努めさせて頂きますのでどうぞよろしくお願い致します。福利・厚生担当の副会長という立場ですが、診療介護保険担当理事として「これからの整形外科のかたちを考える会」も受け持たせて頂いておりますので併せてご指導の程よろしくお願い致します。

平成29年上半年を振り返りますとキーワードとしてはやはり「付度 (そんたく)」があげられるかと思います。次の市整会会報が発行される頃には今年の流行語大賞に選ばれているかも知れません。この付という字は医者を用いる用語だったそうです。医者が、脈をとることを、「寸」、それに心や気持ちを表すりっしんべんがついて、「付」、つまり、脈をとって、その人を診る、ということだそうです。今年の漢字に付が選ばれるかもしれませんね。この付度と似たような言葉に「斟酌 (しんしゃく)」という言葉があります。両者を比べてみると、付度とは、他人の気持ちをおしはかること。推察。とありますが、斟酌とは、相手の事情・心情などをくみとること。手加減すること。手ごころ。とあります (三省堂大辞林)。単純に相手の心情を押し量るのが付度、そして、押し量った上で、それを汲み取って何か処置をするのが斟酌、という事になるようです。

「モリ・カケ」と蕎麦屋のメニューでは無いで

すが、政治の方も次々と話題に事欠きません。行政の現場がトップの意向を付度するのは当然かもしれませんが、それなりの立場の方には、「李下に冠を正さず」、という言葉も肝に銘じて頂きたいという気持ちもあります。政治の話はさておき、医者は患者様の状況・意向を付度し、組織はトップの意向を付度しながら動いて行くべきかと思えます。私も市整会の副会長として天野会長を付度し、会員の皆様を斟酌しつつ少しでも市整会の運営のお力になればと思っております。

昨年の市整会家族会には63名のご参加を頂き、今年6月の市整会学術講演会では会員外を含め180名近くの先生方にご参加頂き、いずれも大盛況でした。6月18日のスケルトンゴルフコンペは中村教授がお声かけして頂いたお陰もあり、市整会会員17名に対し、大学や関連病院から21名ものご参加を頂き、勤務医の先生方とも良き交流がはかれました。これも各担当理事の先生方の企画・運営力と市整会の先生方のご協力あつての賜物です。どうもありがとうございました。

来る10月15日(日)には市整会45周年記念祝賀会、10月28日(土)にはこれからの整形外科のかたちを考える会、11月18日(土)には市整会学術文化講演会が、そして、平成30年1月20日(土)には市整会新年会が開催されます。一人でも多くの先生方のご参加の程よろしくお願い申し上げます。

平成29年度 市整会 総会

平成29年度 市整会 総会

日時：H29.05.20(土) 午後4時～

場所：天王寺都ホテル

出席者： 23名

委任状： 96通（会員：199名）

（出席者23名、委任状96通、会員199名…総会成立）

議題

報告事項

- 1、総会の成立について（森川）
- 2、会員の動向について（森川）
- 3、平成28年度事業報告（森川）
- 4、平成28年度会計報告（伊藤）
- 5、その他の報告事項

協議事項

- 1、平成29年度事業報告並び計画（森川）
- 2、平成29年度予算案（伊藤）
- 3、その他の協議事項

報告事項

1、総会の成立について

現在の会員数は、199名です。本日の出席予定者23名、委任状が96通出ておりますので、合計119名となり、会員の過半数を超えますので、定款の17条を満たしており、この総会が成立した。

2、会員の動向について（森川）

死亡退会者の御報告（3名）

吉田正和先生（昭和30年入局）、平成28年7月11日、ご逝去

木下 孟先生（昭和28年入局）、平成28年8月22日、ご逝去

畠中正昭先生（昭和40年入局）、平成29年2月12日、ご逝去

名誉会員（2名）

猪瀬正美先生（入局：昭和48年；誕生日：S21.11.18）

中本達郎先生（入局：昭和48年；誕生日：S17.4.19）

閉院情報（2名）

坂本和彦先生（昭和56年入局）、平成28年9月24日閉院

中村英健先生（昭和44年入局）、平成29年3月末閉院

退会（2名）

菱川 泰先生（昭和48年入局）

坂本和彦先生（昭和56年入局）

住所変更（1名）

南平克積先生（昭和46入局）

葛城市尺土9-10（旧は230-5）（診療所の新築移転中）

新入会（3名）

森田昌宏先生（平成13年入局）

医療機関名 医療法人至心会 整形外科もりたクリニック

所在地 〒531-0074 大阪市北区本庄東2丁目1-23

TEL06-6373-8686 FAX06-6373-8687

中本達郎先生（昭和48年入局）

医療機関名 中本医院

所在地 〒612-0027 京都市伏見区深草極楽町759

TEL&FAX075-641-1603

田中元人先生（平成10年入局）

医療機関名 医療法人田中会 田中病院

所在地 〒591-8007 堺市北区奥本町1-216

TEL072-251-0005 FAX072-253-4697

3、平成28年度事業報告（森川）

H28.04.22（金）南大阪整形外科春季セミナー（大学行事）

H28.04.23（土）学術講演会 共催：旭化成 南海スイスホテル

参加者：市整会会員44名、同門会20名、その他39名（演者3名含む）合計103名

演題1 「超音波で診る四肢末梢神経と神経ブロック」 座長：小竹志郎

演者 奈良県立医科大学 臨床研修センター 助教 仲西 康顕先生

演題2 「見逃される重要な腰痛：仙腸関節の痛み」 座長：佐藤哲也

演者 JCHO仙台病院 副院長 腰痛・仙腸関節センター長 村上栄一先生

演題3 「腰痛疾患におけるメカニカルな評価と治療～テリパラチドの適正使用について～」 座長：大川得太郎

演者 岸川整形外科 院長 岸川陽一先生

H28.06.05（日）スケルトンゴルフコンペ 天野山CC

参加者：市整会19名、勤務医16名、総勢35名

H28.06.17（金）諮問委員会

H28.06.25（土）市整会総会 天王寺都ホテル 講演会のみ共催：科研製薬

演題 「High Speed Drillの摩擦熱による神経損傷 ウサギを用いた基礎的研

究」 座長：馬野隆信

演者 大阪市立大学大学院医学研究科整形外科学 大学院生 玉井孝司先生

H28.07.08 (金) 南大阪整形外科夏期セミナー (大学行事)

H28.08. 会誌発行

H28.09.10 (土) 諮問委員会

H28.10.01 (土) 平成28年度前期理事会・市整会フォーラム 講演会のみ共催：帝人ファーマ

場所 ANAクラウンプラザホテル 理事会18時～、講演会19時～

出席者：19名、委任状：22通 (理事総数67名)

演題 「腱板断裂から変形性肩関節症に対する治療戦略」 座長：上野憲司

演者 伊藤クリニック院長・大阪ショルダーセンター、スマイルクリニックセンター長、大阪市立大学大学院 客員准教授 伊藤陽一先生

H28.10.15 (土) 南大阪骨折研究会 (大学行事)

H28.10.22 (土) 市整会学術文化講演会 共催：日本臓器製薬 総合司会：明石健一

参加人数 市整会会員29、市整会家族3、同門会7、非会員2、合計41名

学術講演 「超高齢社会におけるロコモティブ症候群対策としての運動器疼痛治療」 座長：増田博

演者 東京大学医学部附属病院 麻酔科・痛みセンター准教授 住谷昌彦先生

文化講演 「スポーツにおける遺伝と環境」 座長：天野祐一

演者 大阪大学大学院、生命機能研究科・時空生物学

医学系研究科・病理病態学 仲野徹先生

H28.10.27 (木) 南大阪整形外科秋季セミナー (大学行事)

H28.11.06 (日) 家族会 (奈良 薬師寺 昼食：菊水楼) 参加人数 63名

H28.11.12 (土) 「『これからの整形外科のかたち』を考える会」(健保介護診療担当勉強会)

ホテル阪急インターナショナル 共催：久光製薬 総合司会：馬野隆信

参加人数 28名 (演者の先生を含め)

演題1 「マイクロサージャリーを用いた四肢の再建 ～疼痛管理を含めて～」

座長：増田博

演者 大阪掖済会病院 五谷寛之 (ひろゆき) 先生

演題2 「認知症の理解と対応」 座長：馬野隆信

演者 むいメンタルクリニック 撫井弘二 先生

演題3 「日常診療で困った認知症症例」 座長：秋野一男

演者 天野祐一先生、馬野隆信先生、森田昌宏先生による症例提示とディスカッション

H28.12.04 (日) 市整会ゴルフコンペ 泉ヶ丘CC 参加人数 20名

H28.12.14 (水) 諮問委員会

H29.01.12 (木) 南大阪整形外科冬季セミナー (大学行事)

H29.01.21 (土) 市整会新年会 (場所: ANAクラウンプラザホテル) 学術講演共催: エーザイ
総合司会: 小竹志郎 出席: 講演会23名、新年会50名
特別講演 「骨軟部腫瘍の診断 治療のピットフォール」 座長: 増田博
演者 大阪市立大学大学院医学研究科 整形外科 星 学 准教授
新年会の司会: 森川献志漢
アトラクション: 山口整萌さん (尺八奏者)

H29.01. 会誌発行

H29.02.18 (土) 同門会 総会

H29.03.03 (金) 市整会世話人会

H29.03.11 (土) 市整会学術講演会 共催: 小野薬品 場所: ホテルモントレグラスミア大阪
総合司会: 西澤徹
参加者107名 (演者を含む)、会員50名、同門会16名、その他41名
演題1 「リウマチ診療における最新の知見」 座長: 小竹志郎
演者 大阪大学大学院医学系研究科 運動器バイオマテリアル学
准教授 富田哲也先生
病院紹介 東住吉森本病院、済生会千里病院
研究会案内 大阪市立総合医療センター小児整形外科 (北野利夫先生)
演題2 「肩こりに対する枕調節の理論と実践—至適臥位姿勢解明を目指して—」 座長: 佐藤哲也
演者 16号整形外科 院長 山田朱織枕研究所代表 山田朱織先生

4、H28年度会計報告 (伊藤)

別紙資料参照

5、その他の報告事項

- 1) H29.10.15の市整会45周年記念祝賀会に向けて下記のメンバーで準備委員会を立ち上げ、準備に向けて稼働しようとしております。

天野 祐一、増田 博、馬野 隆信、鳴嶋 真人、斧出 安弘、小竹 志郎、
明石 健一、伊藤 智康、柳井 尚浩、宮内 晃、木下 裕介、長濱 信一、
大川得太郎、秋野 一男、森川献志漢

尚、祝賀会がある為、今年度の家族会はございません。

- 2) 70周年基金の途中経過報告 (宮内)

3) 医局70周年の寄付金未納者へ下記のメンバーで振込みのお願いの電話をさせて頂いております。

分担表

入局年度区分 リーダー メンバー

昭和26～昭和43年	天野 祐一	長田 明	伊藤 成幸	吉中 正好	榎本 高明
	前野 岳敏				
昭和44～昭和48年	増田 博	南平 克積	黒田 晃司	奥田 好彦	楯 憲一郎
昭和50～昭和54年	鳴嶋 真人	西上 茂樹	佐藤 哲也		
昭和55～昭和56年	安田 浩成	宮脇 裕二	斧出 安弘	秋野 一男	
昭和57～昭和59年	柳井 尚浩	馬野 隆信	長濱 信一		
昭和60～平成05年	宮内 晃	西澤 徹	伊藤 智康	日下昌 浩	上野 憲司
	調子 和則	大川得太郎			
平成08～平成14年	森川献志漢	木下 裕介	小竹 志郎	明石 健一	山北 真也

4) その他の報告事項はありませんでした。

協議事項

1、平成29年度事業報告並び計画 (森川)

H29.04.12 (水) 諮問委員会

H29.04.21 (金) 南大阪整形外科春季セミナー (大学行事)

H29.04.22 (土) 平成28年度後期理事会・市整会フォーラム ヴィアール大阪 (本町)

共催：久光製薬 17時～理事会、18時～フォーラム

出席者：23名、委任状：23通 (理事総数66名)

演題「関節・筋肉の痛みにエコー、骨の強さの評価にDXA、基本のポイント
について」 座長：小竹志郎

演者 大川得太郎先生

H29.05.20 (土) 市整会総会 講演会のみ共催：科研製薬

午後4時～ 天王寺都ホテル

演題1 「腰椎椎間にかかるメカニカルストレスが黄色靭帯に与える影響」

座長：増田博

演者 大阪市立大学大学院医学研究科整形外科学 大学院生 林和憲先生

H29.05.27 (土) 市整会45周年記念第1回準備委員会

H29.06.10 (土) 学術講演会 スイスホテル南海大阪 8階「白鳥」15:30～ 共催：旭化成

演題1 「筋膜リリースの基礎と応用」 座長：小竹志郎

演者 首都大学東京大学院 理学療法科学域教授 理学療法士・医学博士

竹井仁先生

演題2 「交通事故診療の問題点」 座長：木下裕介

演者 日本臨床整形外科学会 自賠労災委員会担当理事

医) 慶仁会 やました整形外科 院長 山下仁司先生

演題3 「骨代謝回転を考慮した骨折・リウマチ・骨粗鬆症治療薬の使い分けと、
医療連携」 座長：馬野隆信
演者 沖本クリニック 沖本信和先生

市整会45周年記念第2回準備委員会（14時～15時、同ホテル36階）

H29.06.18（日）スケルトンゴルフコンペ 天野山CC

H29.06.29（木）南大阪整形外科夏季セミナー（大学行事）

H29.07.22（土）第3回市整会45周年記念 準備委員会

H29.08.30（水）諮問委員会

H29.09.09（土）平成29年度前期理事会・市整会フォーラム 講演会のみ共催：帝人ファーマ
ANAクラウンホテル 理事会18：00～、フォーラム19：00～
演題 「投球傷害（仮）」 座長：未定
演者 上野憲司先生
「第4回市整会45周年記念 準備委員会」17：00～

H29.09.29（金）南大阪整形外科秋季セミナー（大学行事）

H29.09.30（土）第5回市整会45周年記念 準備委員会

H29.10.15（日）市整会45周年記念祝賀会
ANAクラウンプラザホテル 午後5時半～

H29.10.28（土）『『これからの整形外科のかたち』を考える会』（健保介護診療担当勉強会）
ヴィアール大阪 午後4時～

演題1 「関節エコー画像からみた疼痛へのアプローチについて」 座長：未定

演者 大阪市立大学大学院 整形外科病院講師 岡野 匡志 先生

演題2 「整形外科日常診療でエコーを生かしましょう（仮題）」 座長：未定

演者 おおかわ整形外科クリニック 大川得太郎先生

ハンズオン 「運動器診療におけるエコーの導入と実践」 座長：未定

演者 未定

H29.11.11（土）南大阪骨折研究会（大学行事）

H29.11.18（土）市整会学術文化講演会

学術講演 「腎障害患者における薬物治療の注意点」

—安全性を考慮した整形外科領域の薬剤選択— 座長：未定

演者 名古屋大学大学院医学系研究科 循環器・肝臓・糖尿病（CKD）

先進診療システム学寄附講座 准教授 安田宜成先生

文化講演 「魚が個体を識別している」 座長：未定

演者 大阪市立大学大学院 理学研究科 理学部生物学科 教授 幸田正典先生

H29.12.03 (日) 市整会ゴルフコンペ 泉ヶ丘CC

H30.01.12 (金) 南大阪整形外科冬季セミナー (大学行事)

H30.01.20 (土) 市整会新年会 (場所: ANAクラウンプラザホテル)

特別講演 17:00~

新年会 18:30~

H30.02.10か17 (土) 同門会総会 (大学行事) (日程調整中)

H30.03.10 (土) 市整会学術講演会 共催: 小野薬品

場所: ホテルモントレグラスミア大阪 (予定)

2、平成29年度予算案 (伊藤)

別紙資料参照

3、その他の協議事項

- 1) 古瀬先生から、大阪マラソンでの救護医師確保のお願いがあった。市大としては10名の確保が必要であり、スポーツに関する福利厚生ゴルフ部が担当する案も出たが、メールにてお願いしていく事で意見の一致があった。
- 2) その他の協議事項はありませんでした。



市整会 平成28年度収支決算書・平成29年度予算書

平成28年度収支計算書

自 平成28年4月1日

至 平成29年3月31日

1. 収入の部

科目	平成28年度予算額	平成28年度決算額	増減
第1款 会費収入			
第1項 本会費	¥5,100,000	¥4,905,000	¥-195,000
第2項 特別会費	¥1	¥0	¥-1
小計	¥5,100,001	¥4,905,000	¥-195,001
第2款 雑収入			
第1項 雑収入(預金利息、紹介状代)	¥2,000	¥76	¥-1,924
第2項 寄付金収入	¥1	¥0	¥-1
第3項 その他の収入	¥400,000	¥761,720	¥361,720
小計	¥402,001	¥761,796	¥359,795
当期収入合計	¥5,502,002	¥5,666,796	¥164,794
繰越金	¥8,349,420	¥8,349,420	¥0
合計	¥13,851,422	¥14,016,216	¥164,794

2. 支出の部

科目	平成28年度予算額	平成28年度決算額	増減
第1款 事務費			
第1項 通信費	¥200,000	¥88,356	¥-111,644
第2項 事務用品費	¥20,000	¥2,268	¥-17,732
第3項 渉外費	¥100,000	¥0	¥-100,000
第4項 事務弁償費	¥40,000	¥40,000	¥0
小計	¥360,000	¥130,624	¥-229,376
第2款 各部活動費			
第1項 総務部	¥1,400,000	¥1,773,313	¥373,313
第2項 学術部	¥1,500,000	¥1,200,000	¥-300,000
第3項 福利厚生部	¥1,400,000	¥1,444,423	¥44,423
第4項 広報部	¥400,000	¥501,674	¥101,674
第5項 税務部	¥30,000	¥0	¥-30,000
第6項 雑費	¥30,000	¥11,340	¥-18,660
第7項 学術積立金	¥400,000	¥400,000	¥0
第8項 45周年記念事業費積立金	¥1,000,000	¥1,000,000	¥0
小計	¥6,160,000	¥6,330,750	¥170,750
第3款 慶弔費	¥250,000	¥256,320	¥6,320
第4款 予備費	¥7,081,422		
当期支出合計	¥13,851,422	¥6,717,694	¥-7,133,728
次期繰越金		¥7,298,522	
合計	¥13,851,422	¥14,016,216	¥164,794

内 訳

1. 収入の部

年会費収入	163.5/202名（閉院・閉院扱い32名、未納5名、1名半期分、1名昨年度納入） $¥30,000 \times (202-32-5-0.5-1) =$	¥4,905,000
利息	医師信用組合 三井住友銀行 合計	¥52 ¥24 ¥76
紹介状代		
その他の収入	学術講演会等参加費	¥761,720

2. 支出の部

事務費

第1項 通信費	FAXネット等	¥88,356
第2項 事務用品費	封筒・香典袋等	¥2,268
第4項 事務弁償費	総務 会計	¥20,000 ¥20,000

各部活動費

第1項 総務部	会議費 新年会会場費（クラウンプラザホテル） 新年会アトラクション代 ホームページ管理料 ネームプレート代 封筒・名簿等印刷	¥392,242 ¥761,548 ¥250,000 ¥219,360 ¥10,800 ¥139,363
第2項 学術部	大学医局出張費援助 文化講演（仲野 徹先生）	¥1,000,000 ¥200,000
第3項 福利厚生部	市整会ゴルフ 家族会	¥433,668 ¥1,010,755
第4項 広報部	会報印刷代等	¥501,674
第6項 雑費	振込手数料	¥11,340

慶弔費

名誉会員表彰状代・花代・香典等	¥256,320
-----------------	----------

平成29年度予算書

自 平成29年4月1日

至 平成30年3月31日

1. 収入の部

科目	平成28年度予算額	平成29年度予算額	増減
第1款 会費収入			
第1項 本会費	¥5,100,000	¥5,040,000	¥-60,000
第2項 特別会費	¥1	¥1	¥0
小計	¥5,100,001	¥5,040,001	¥-60,000
第2款 雑収入			
第1項 雑収入(預金利息、紹介状代)	¥2,000	¥2,000	¥0
第2項 寄付金収入	¥1	¥1	¥0
第3項 その他の収入	¥400,000	¥400,000	¥0
小計	¥402,001	¥402,001	¥0
当期収入合計	¥5,502,002	¥5,442,002	¥-60,000
前期繰越金	¥8,349,420	¥7,298,522	¥-1,050,898
合計	¥13,851,422	¥12,740,524	¥-1,110,898

2. 支出の部

科目	平成28年度予算額	平成29年度予算額	増減
第1款 事務費			
第1項 通信費	¥200,000	¥200,000	¥0
第2項 事務用品費	¥20,000	¥20,000	¥0
第3項 渉外費	¥100,000	¥100,000	¥0
第4項 事務弁償費	¥40,000	¥40,000	¥0
小計	¥360,000	¥360,000	¥0
第2款 各部活動費			¥0
第1項 総務部	¥1,400,000	¥1,400,000	¥0
第2項 学術部	¥1,500,000	¥1,500,000	¥0
第3項 福利厚生部	¥1,400,000	¥500,000	¥-900,000
第4項 広報部	¥400,000	¥400,000	¥0
第5項 税務部	¥30,000	¥30,000	¥0
第6項 雑費	¥30,000	¥30,000	¥0
第7項 学術積立金	¥400,000	¥400,000	¥0
第8項 45周年記念事業費積立金	¥1,000,000	¥1,000,000	¥0
小計	¥6,160,000	¥5,260,000	¥-900,000
第3款 慶弔費	¥250,000	¥250,000	¥0
第4款 予備費	¥7,081,422	¥6,870,524	
合計	¥13,851,422	¥12,740,524	¥-1,110,898

会計監査報告書

平成 28 年度市整会（大阪市大整形外科開業医会）の
歳入歳出につき、慎重監査いたしましたところ、適正
に処理・管理されたことを認めます。

平成 29 年 5 月 6 日

監事

榎 憲一郎 

平成 29 年 5 月 9 日

監事

安田 浩成 

市大整形外科70周年の準備委員会

顧問 : 榎本 高明 南平 克積 頼 功
実行委員会 : 鳴嶋 真人 安田 浩成 増田 博 柳井 尚浩 天野 祐一
大学運営委員会 : 鳴嶋 真人 安田 浩成 増田 博 斧出 安弘 天野 祐一
市整会運営委員会 : 宮内 晃 秋野 一男 伊藤 智康 調子 和則 上野 憲司
大川得太郎 木下 裕介 宮脇 裕二 西澤 徹 馬野 隆信
森川献志漢



市整会が45周年をむかえます

市整会会長 天野 祐一（昭和57年入局）

市整会は昭和47年11月3月に先輩方31人の発起人のよって企画され昭和48年5月に発足されました。初代会長は伊藤 成幸先生で17年を勤めたのち2代目の松尾 澄正先生にバトンタッチされ、3代目の吉中 正好先生、平成7年から4代目長田 明先生で平成9年6月に市整会25周年パーティーが行われた時には会員数がすでに170数名になっておりました。

今年はこの発足45年になるため45周年記念行事を企画しております。

企画立案するにあたり、過去の周年記念誌を読み返しているところですが、あの頃は言わば整形外科開業医のゴールデンエイジだったと今強く感じております。記念誌の投稿からも市整会会員の仲の良さ、信頼関係が浮かび上がって参ります。

例えば、我々は会の存在すら存じ上げなかったのですが木下 孟先生の発案で平成7年に始まった「65の会」があります。年一回秋に集まり食事をして語り合う、知らなかった先生方の意外な趣味や興味ある話をお聞きする会だったそうです。

20周年記念誌編集に携わった黒田 晃司先生や25周年記念誌を任された阪本 邦雄先生の投稿文には大変なご苦労が書面から伺われました。こうして完成した記念誌には当時の先輩方の思いや市整会愛が詰まっています。

さて、そのころと比べて現在の市整会の現状はといえば、かなり心許ない状態かもしれません。世代間ギャップ、整形バブルの崩壊、医師数の増加、人間関係の希薄化などいろんな要因がありますが、最近若い先生方に聞いたところでは病

院でも全体的な飲み会はほとんど無く、忘年会や新人歓迎会くらいです、との事。これも時代の流れなのでしょう。

それでも医療にとって逆風のなか新しく開業医の仲間入りをはたし市整会に入会してくれる先生方もおられます。

我々の頃の開業医像とは違い身につけた専門性を活かして手術をメインにする先生、関連病院と連携を密にして複数の施設での外来診療をする先生、超音波検査を中心とした診療を得意にしている先生、在宅医療を柱にし介護事業に手広く乗り出す先生等々、明確に自分の持つ武器を引っさげて患者ニーズを把握してマーケットに参入する、そんな意識を持って運営する時代になっているようです。

市整会には2世の先生方も多く入局しておられ、事業の継承も身近な現実問題となっています。親にとっては子供はいくつになっても頼りないもの、いつまでこの診療を続けられるのか、同じ形態で続けることが出来るのか。それよりも「いつまでやるのか」悩ましいかぎりです。

ともあれ、今日が終われば明るい日と書いた明日がやって来る。自分の事を頼りにして来てくれる患者さんがいる。そんな毎日を淡々と過ごすように漸くなってきました。

とりとめのない文章で恐縮ですが、日常診療の延長上に周年記念行事がやって来ます、お互いを「頑張ってるね」と寿ぐ為にも会員の皆様のご参加をお願いいたします。



市整会45周年記念式典並びに祝賀会のご案内

「市整会45年の回顧とこれからの展望」

謹啓 先生方におかれましては、ますますご清栄の事と、お喜び申し上げます。

さて、「市整会」も、本年創設四十五周年を迎えることと相成りました。これもひとえに市整会を率いてくださいました諸先輩の先生方、ならびに会員の先生方のご努力と、皆様の格別のご支援ご厚情の賜物と、感謝いたしております。

つきましては、ささやかながら下記のごとく、四十五周年記念式典を行い、式後小宴を開催いたしたいと存じます。ご多忙のところ恐縮ではございますが、万障お繰り合わせのうえご出席を賜りたくお願い申し上げます。

謹白

記

日時： 10月15日（日） 午後5時半から（午後5時受付開始）

場所： ANAクラウンプラザホテル 三階 万葉西の間

つきましては、出欠のお返事を賜りたく存じます。

1、出欠のお返事について

先日郵送いたしました返信用葉書に、ご出席いただく人数と、各人のお名前（名簿並びに名札を作成いたします）を、ご記入の上、返信をお願いいたします。

2、会費の振込について

出席数を確認する必要がありますので、恐れ入りますが、平成29年8月15日までに、出欠のお返事をいただき、下記銀行口座に会費をお振込み下さい。

会費： 会員 1万円

中学生以上のご家族 お一人 5千円（複数の場合は5千円×人数分）

小学生 お一人 3千円（複数の場合は3千円×人数分）

未就学児童 無料

*以上の合計金額をお振込み下さい。

口座： 三井住友銀行 関目支店

口座番号：普通 6759926

口座名義：市整会45周年記念行事（シセイカイヨンジュウゴシュウネンキネンギョウジ）

「誠に恐れ入りますが、振込手数料はご負担くださいますようお願いいたします」

「振込人のお名前が法人名の場合、振込確認が出来ないことがありますので、先生のお名前が表示されない場合、下記にメールかFAXでご連絡をお願いいたします」

平成29年 8月 吉日

*出欠のお返事は、メールでも、FAXでも結構です。総務の森川までお願いいたします。

森川 e-mail：kenshiro-m@nifty.com FAX：072-939-8886

市整会会長 天野 祐一

45周年記念誌投稿のお願い

木下 裕介（平成7年入局）

市整会の先生方、平素は大変お世話になっていきます。今年市整会は45周年を迎え天野会長が中心となって記念祝賀会の準備を進めています。僕も準備委員の中に入れていただき非常に光栄に思っています。

僕の役割は記念誌の作成となっています。昨年10月頃でしょうか、前任の宮脇先生からメールが届き、色々とやりとりがあったのですが、宮脇先生の全面バックアップを約束にお受けすることになりました。

40周年記念誌を参考にして、45周年記念誌を完成させようと考えています。

そのメインをなす部分に先生方からの自由投稿とアンケートでございます。自由投稿については、文字数・内容については特に規制はありません。趣味について、過去の思い出、仕事、市整会に対する思いや要望など何でも結構です。又写真のみの投稿でも大歓迎です。（お預かりしたお写真は返却させていただきます）ふるっての投稿よろしくお願い致します。

アンケートですが、過去のアンケートと準備委員の先生方のご意見を頂き作成致しました。

- 1、最近のマイトピックス！是非みんなに話したい出来事は？
- 2、最近知った他人には言いたくない美味しいお店はありますか？
- 3、今これにはまっている趣味は？
- 4、今までの旅行で一番良かった場所は？これからは是非行ってみたい場所は？
良かった場所 行ってみたい場所
- 5、しないと損、ふるさと納税。おススメは？
- 6、何歳まで現役続行？または老いを感じる時はどんな時？
- 7、開業した先生にアドバイス。借金を早く返す方法？患者の集め方？開業されたばかりの先生は先輩の先生に聞きたいこと。
- 8、レセコン・電カル・エコー・レントゲン・骨

密度測定器などお勧めの機種はありますか？

9、ベテランの先生方に質問です。

ご子息様への継承について そのタイミングはいつですか？

10、平成開業の若手の先生に質問です。

絶対失敗したくない職員採用 ポイントにしている点はありますか？

11、市整会に望むこと。

12、その他、ご意見ご感想をお書き下さい。

前半は趣味に関する事、後半は仕事に関する事になっていきます。ご回答のほど宜しくお願い致します。

前回の40周年記念誌には17名の先生方の自由投稿、50名の先生方のアンケートがございました。今回は前回は上回る投稿とアンケートを載せたいと考えています。御協力のほどよろしくお願い致します。

また、自由投稿、アンケートとも、そのページの左上に先生方の顔写真を載せたいと考えています。投稿の際先生方の自慢の写真1枚を同封して頂ければと思っています。

原稿・アンケート・写真は下記住所、FAX、アドレスまで宜しくお願い致します。

木下整形外科医院 木下裕介

〒580-0023 松原市南新町5-1-35

TEL：072-336-0381 FAX：072-330-3380

e-mail：kinoshita@ak.em-net.ne.jp

大阪市立大学整形外科学講座開講70周年記念事業 寄付御協力のお願い

大阪市立大学整形外科教室は2018年（平成30年）秋に開講70周年の節目を迎えます。開講70周年記念事業の準備が同門会を主導として進められています。市整会会員の先生方には、昨年からご寄付を募ってまいりました。

ご寄付をいただきました先生方、多額のお願いにもかかわらず早々にご協力賜り厚く御礼申し上げます。

平成27年4月の市整会総会における決議に基づき、全会員から御協力をお願いして参りました。大半の会員にご賛同いただきましたが、まだ振込頂いていない先生方がおられます。

医療の原点を教わり我々を育ててくれた教室に対する感謝と、今後の発展を祈念する事業費でございます。高額ではございますが、趣旨をご理解いただき、ご協力のほど重ねてお願い申し上げます

以下、平成29年4月末時点での（分割納入者を含む）ご寄付を賜りました会員氏名を記載いたします。()は入局者数

昭和24年（1）矢頃 恒三

昭和25年（1）伊藤 成幸

昭和26年（1）

昭和28年（2）木下 孟（故）

昭和30年（2）岩津 昭

昭和31年（2）

昭和32年（3）

昭和33年（1）

昭和34年（1）

昭和36年（4）江口 享、梅原 薫、吉中 正好、越川 恵

昭和37年（3）石崎 嘉昭、上田 晏弘

昭和38年（2）長田 明

昭和39年（6）榎本 高明、中野 博友

昭和40年（6）東 晴彦、木全 俊弘、畠中 正昭（故）

昭和41年（2）前野 岳敏

昭和42年（1）

昭和43年（2）山田 守義

昭和44年（4）許 国広

昭和45年（1）杉本 欣也

昭和46年（8）片上 善嗣、南平 克積、山田 忠尚、佐竹 兼爾

昭和48年（5）楠 正敬、中本 達郎

昭和49年（3）頼 功、吉田 昌司、岡垣健太郎

昭和50年（3）中嶋 一行

昭和51年（2）林 正樹、吉田研二郎

昭和52年（2）楯 憲一郎、西賀 隆夫

昭和53年（5）中州 裕、阪本 邦雄、森下 常一、箕輪 恵次、油谷 安孝

昭和54年（18）鳴嶋 真人、西上 茂樹、河合 栄蔵、川西康之亮、島田 永和、安部 治郎、

大草 良夫、清水 孝修、堀澤 欣弘、佐藤 哲也、西口 豊憲、和田 健志、
 安田 浩成

昭和55年 (4) 宮脇 裕二、中村 薫

昭和56年 (11) 喜馬 秀樹、秋野 一男、坂本 和彦、成田 信哉、田中 直史

昭和57年 (11) 天野 祐一、増田 博、森沢 康二、野上 倫昭、寺川 文彦、阪本 一樹、
 柳井 尚浩、森井 孝和、山田 純司、西浦 道行

昭和58年 (5) 馬野 隆信、光武 宏、中川伊佐夫、喜多 義将

昭和59年 (12) 金井 秀彰、辰己 一郎、柴田 和弥、阪本 博史、八木 宏之、高山 優、
 元田 忠伸、長濱 信一、香月 憲一

昭和60年 (7) 川満 政之、古瀬 洋一、上野 憲司、宮内 晃、橋本 亮治、鄭 明和

昭和61年 (4) 調子 和則、寺元 隆、安井 明

昭和62年 (5) 西澤 徹、竹中 捻幸、大川得太郎、浦勇 武志

昭和63年 (2) 伊藤 智康、南 幸作

平成1年 (2) 藤沢 直史

平成2年 (3) 湊 康行、柴田 敏弥

平成3年 (3) 小堀 肇彦、岩城 啓好、伊藤 陽一

平成4年 (2) 本田 泰郎、桑野 吉浩

平成5年 (4) 戸堂 慎一、酒井 啓、日下 昌浩

平成6年 (4) 仁田 史人、矢野 博志、島本 敬三、姜 良勲

平成7年 (5) 宮口 正継、木下 裕介、音野 慶仁、鈴木 英介、鱧永 浩

平成8年 (4) 森川献志漢、中塚 洋直

平成9年 (1)

平成10年 (2) 松尾 澄治、榎本 誠

平成11年 (4) 小竹 志郎、明石 健一、米田 昌弘

平成12年 (3) 妻鹿 良平、徳原 善雄

平成13年 (6) 高尾 泰広、田村 隆典、竜江 哲培、田口 晋、山北 真也、森田 昌宏

平成14年 (5) 中尾 佳裕、鞆 浩康、飯田 高広、木村 浩朗

平成15年 (1) 松本 一伸

未納入の先生は、以下の方法を選択の上、納入
 お願い申し上げます。

納入方法

銀行をご利用の場合

みずほ銀行：住吉支店 店番号471

普通：1155983

口座名：市大70周年準備委員会

(シダイ70シュウネンジュンビイインカイ)

振り仮名は、イチダイ、ではありません。お問
 違いのないようお願いいたします

郵便局ご利用の場合

記号：14070 番号：16647361

なまえ：シセイカイ

注：振込用紙をもって領収書に替えさせていただきます。

寄付金金額

開業3年未満 総額10万円（1回払い）

開業3年～10年未満 総額20万円

（1回もしくは2回分割）

開業10年以上 総額30万円

（1回もしくは3回分割）

（年限はH27.4.1の時点での開業年数です）

一括納入、あるいは2～3回の分割納入も可能
 です。開業年数により該当する金額をお願いしま
 す。

70周年記念事業市整会実行委員会
 委員長 鳴嶋真人

（会計担当 柳井尚浩 宮内晃）

自己紹介

中本医院 中本 達郎 (昭和48年入局)

この度、市整会に入会させていただいた中本達郎です。昨年まで勤務医として仕事していましたが退職いたしました。以前より週2回（月曜日、木曜日）夕方より自宅診療しておりましたが、市整会に入会せず、市整会の学術講演会に出席したり、ゴルフコンペにも参加させていただきました。

市大整形外科医局に退職、自宅での開業を連絡しました。市整会の役員の先生より連絡あり入会いたしました。

今年より後期高齢となり何年働けるかわかりませんが今後ともよろしく御願ひ申し上げます。

中本医院（自宅）

京阪電鉄「藤森」駅下車すぐ、
診療は月、木、午後2時～8時です。



自己紹介

医療法人至心会整形外科もりたクリニック 院長 森田 昌宏
(平成13年入局)

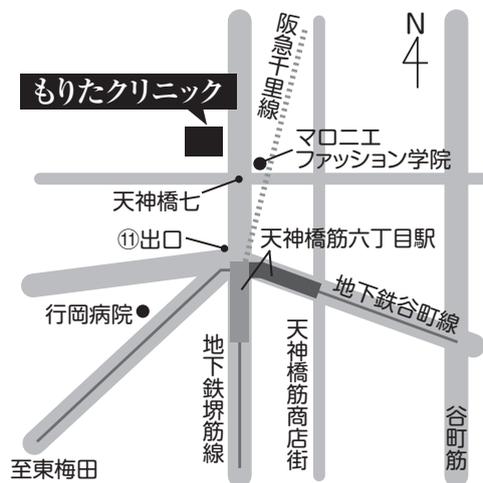
この度、市整会に入会させていただきました平成13年入局の森田昌宏です。平成21年に大阪市北区本庄東2丁目で開業いたしました。天神橋筋7丁目と言ったほうがわかりやすいかもしれません。

私は平成7年に大阪市立大学大学院腫瘍外科講座入局を経て、同院整形外科講座に入局しました。入局後は、関連病院の大阪府身体障害者福祉センター及び大阪府済生会中津病院にて整形外科疾患や脳血管障害等のリハビリテーション医学を専門に勉強させていただきました。地域連携とい

う枠組みの中で、急性期から回復期の医療を経験することができました。時を同じくして至心会理事長である喜多義将先生に在宅医療の大切さを学ばせていただきました。

開業後はリハビリテーション専門医として、地域の医療・介護・福祉の向上を目標に掲げ、住民が抱える健康問題について、いつでも気軽に相談できる、かかりつけ医でありたいと考え日々診療に取り組んでいます。

今後も皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



大阪市営地下鉄谷町線・堺筋線／阪急千里線⑪番出口
「天神橋筋六丁目」駅より徒歩約3分
大阪市北区本庄東2-1-23

午前診 月火水木金土 9:30～12:30
午後診 月火水金 16:30～19:00

追 想

藤原 良江（昭和44年入局）

平成29年、私は数え年77歳になった。昔でいう喜寿である。平成14年大阪市を定年退職した時、77歳で私の旅行記を書き、自費出版しようと思っていた。平成26年11月左膝、28年1月右膝のTKAを受けたので27～29年は旅行を中止している。今迄の訪問国は43カ国で（南極、北極は国に数えていない）。50カ国には足りない。そこで旅行記は80歳の時に書こうと思い直した。2年半あれば7～8カ国は十分行けるだろうと思っている。そこに市整会誌より又々寄稿を頼まれたので、今迄を振り返り、城北市民病院、大学病院、住吉市民病院時代のことを書き留めておこうと思った。

私達市大・医17期生は昭和43年3月無事に卒業し、研修生活に入った。殆んどが大学病院で研修生活を送った。昭和43年秋頃より、全国に拡がった学園紛争に市大も突入し、44年夏には病院封鎖も行われ研修は行えなかった。その頃、整形外科の小谷教授は病院長として大変な毎日を送られたのである。臨時に駆り出された各科の教授達は入院中の患者の薬や点滴の処方をするたびに、ナースより「今はこの薬は使われておりません」と言われておられた。又、医師国家試験は16期生より春の試験をボイコットし、秋に受けた。これが6～7年続いた。何故6～7年も続いたか？。私達43年卒業生（17期生）は、3月に卒業したが、44年卒業生より5年間ほどは9月卒業であったので6～7年間は秋組が多いのである。昭和45年研修生活を不十分ながら一応終えたあと同期生8人は夫々自分の行先を決めて散らばった。私は皆が選んだあとの残った城北市民病院へ行った。城北の科長、増本先生は、「男女7歳にして席を同じゅうせず」の世代の方なので女性をどう扱ったらよいか分らず「女性として最低限のことしか認めん」と言われた。先生にとって整形外科に女性が入局してくるとは思いもよらないことだったと思う。しかし3年間楽しく過ごした所である。増本先生にとっては少なからず手に負えない医局員だったと思う。生意気というか、でしゃばりだったと

思う。

強く思い出に残っていることを書き留めておきます。

1. 昭和44年度暮にバイト先（東住吉の長吉病院）でボーナスといってまとまったお金をいただいた。このお金5万円をいかに使うかと考え、私は自動車学校に通った。45年4月、偶然だが自分の誕生日に免許を取得した。45年4月より城北市民病院の医員になったので、8月には、車を買うのに充分なお金が貯っていた。車を買って毎日車通勤した。タクシードライバーが入院している時は、朝、私が出勤する時刻になると彼が駐車場で待っていて、「あとは僕が入れておきます」といって車庫入れしてくれたので病院の壁にぶつけることはなかった。46年4月、国道24号線鶴見橋の交差点で信号が黄色になったので停ったところ、後続の2.5トン車に猛スピードで追突され、私の車は10m前方にとばされた。

その日はそれほどでもなかったが、翌日から頸部の痛みは強く首を動かさない。首を垂直にしてゆっくり歩いていた。診察は痛みをこらえて何とかこなし、病棟ではナースが椅子を持って歩き、包帯交換の必要な患者の前では椅子に腰かけて処置をしていた。患者さんの中には「先生、今日は僕ええよ」と言ってくれる者もいたが、私は甘えることはしなかった。親に着替えを届けてもらって家に帰らず2週間病院で過した。追突された2日後、入局式があった。両手で首を支えながら大学に行った。それをみて島津先生は増本先生を叱責された。「こんなに痛がっているのに何故来させた」「大学へ来なさい」と言われたので来たのに、増本先生に落度はないのにとふくれっ面をしていた。この事故の時、警察で言われたことは、「後方の状態をよくみて、黄信号でも突っ切るんじゃない」であった。

2. 腰痛を訴えて入院した男性。検査所見をみた私は「この人はミエローマだと思います」「なん

でや」「尿所見にベンス・ジョーンズ蛋白尿 (Bence-Jones) 陽性とあります。先ずミエローマを疑います。大体昭和36年頃までは各種検査は不十分であったと聞いている。GOT、GPTもなかった時代である。ベンス・ジョーンズ蛋白尿もなかったと思う。「ほんならこの患者、君が受持ち」「はい受持ちます」。早速胸骨の穿刺をして、これと思う細胞を写真にして石田先生にみてもらった。「ミエローマ」と言ってもらえた。その後幾日かして、石田先生よりTelあり。「藤原君、このあいだの写真貸してくれないか。僕の患者の写真、今ひとつ出来がよくないのや」と言われる。そういうことでその写真をお貸しした。その後、その写真は戻ってこなかったが、日整会で発表され、日整会誌に掲載された。

3. 股関節痛を訴えて入院した50代の男性、この人についても一言余計だったのか？「この患者、胃かどこかのメタです」と又言い切っていた。「なんでや」「このX-Pで点状ですけど陰影がありおかしいです。メタと思います」「ほんなら君、受持ち」「はい」ということで受持ち後にMKのメタと判明した。

4. ある時、原因不明の腰背部痛を訴える男性がいた。検血の結果は膠原病ということであったが右前上腸骨部に径14~5cmの腫留があった。何か分からない、あけてみた、脂肪層ばかりが炎症をおこしていた。腫留には手をつけず何が何やら不明のまま閉創した。翌日、当時よく出入りしていた第2病理の北条助教授にこの話をした。「藤原君、ウェバークリスチャンをみてごらん」と。調べました。私が手術でみたとおりのことが書いてあった。その後、大学の図書室に1ヵ月通い、厚さ7cmもある日本医学誌を順番に調べた。明治の終り頃から昭和47年頃まで80症例ほどの症例報告があった。整形外科、内科、小児科からの報告が殆んどであった。これを後日、市民病院の勉強会で話したら、桃山市民病院の井本先生が「藤原君、有難う。この前、患者は死んだが病名がつかなんだ。今日やっと病名が分った」と言われた。

5. 私は聴力は悪いが臭覚と視力はよいと自負している。ある時病室の前の廊下を歩いていて「こ

のおじいちゃん、感染しているよ」と言った。3日後ナースが「先生あの患者さん感染していて膿盆一杯の膿がありました」と報告した。主治医は研修生で術後「朝晩2回ガーゼ交換せなあかんよ」と注意したが「誰の指示ですか？あんたの指示なんか受けません」と言った。増本先生が「僕の指示だよ」と言われても彼は実行しなかった。数日して彼は他施設の研修に移っていった。結局この患者の面倒は私が見ることになった。3ヵ月後彼が再び城北にもどった時患者は彼に対して知らん顔していた。この研修生にとって私は目の上のタンコブであったのだろう。ある時、手術で手洗いした時、せっかく洗った手を下げていたので「先生、手洗い後の両手は腹より上にあげてね、先生はお腹も出てるからより注意せなダメですよ」「あんたはやっぱり女やなあ、いちいちうるさいな、慣れたらちゃんとするよ」といって何かにつけて私に突っかかった。彼は一度大学を卒業して社会人になったがある時「みそ汁で顔を洗いなおしてこい！」と言われ、改めて医学部に入ったので私より歳上であった。歳下の女性に言われるのが無性に我慢ならなかったようである。始終「ふん女のくせに！」という態度であった。

6. 第2外科の門脇先生が新生児のOPにみえた。先生は生後2日目のベビーにいとまやすく点滴をされた。私は驚嘆した。この先生に出来るなら私も努力してみようということで、努力の結果、私も点滴がうまくなった。そして大学病院時代、日曜日に小児科より点滴をして欲しいと頼まれた。患者はそれまで整形外科に入院していたが病名がはっきりしかけたところで小児科に転科していた。小児科医は20回以上の刺入に失敗していた。患者の母親が「整形の藤原先生はいつも一回で刺入していた。藤原先生を呼んでくれと強硬であった。仕方なく大学へ行き、これも一回で難なく実施した。平成7年の神戸の震災場では、同じ場所で大学の小児科、整形外科医が一緒だった。点滴の必要な患者に小児科医が試行したが出来ず彼はあきらめた。一緒に来ていた整形外科医は「小児科医に出来ないことを整形外科医は出来ません」ときめこんでひっこんでしまった。私は「私にさせて」と一緒に来ていたナースは元整形外科にいたので「先生どうぞ」と道具をそこに置

いた。私は直ぐ「入ったよ、固定して」といってその場を離れた。

7. 昭和47年頃、脳外科の西村教授が土曜日学生3人を連れて当直をされるのが何度かあった。ある日呼ばれた「城北には後頭下穿刺針はあるかね」「ございませぬ」「君はどうしているのかね」「整形外科では全例ルンバル針でしております」「では君やってくれたまえ」患者は6歳の男児である。午前中に小児科医が腰部を穿刺して検査をしていた。二回目を施行しようとして不成功だったので脳外科に依頼されたのである。その週大学で後頭下穿刺でちょっとした事故があったらしい。だから出先で事故は避けたいので整形に依頼があったのである。先生は学生に彼女のやる事をしっかりみておくようにと言われ、私には「君、麻酔が要るね」と言われた。「出来ましたら」と答えたが一向に麻酔の用意がなされないの、私は患児に「一回だけ針を首の後ろを突くけれど動かないでね」と言って刺入したが一回目は不成功だった。「ごめんもう一回突かせてね」と言って刺入した。二回目は成功し、検査もし、造影剤も注入し撮影した。西村教授は言われた。「君は心臓に毛が生えてるね」と。

撮影の結果はTh3でstopしてtumorが疑われた。「整形で引きとります」「いや、今から僕がOPをするから君は麻酔をかけてくれ」ということで麻酔係をやった。途中出血がひどくなり、先生は手術中の助手に「君、手をおろして輸血をやりたまえ」と言われた。ナースと私は「当方で致します!!」と宣言して助手にさせなかった。西村先生は城北に来られると「やあ藤原君!」と親しげに言われるが大学病院の中では私が黙礼すると「ふむ」という感じで少し顎をひかれるのだった。

8. 47年だったか48年だったか天満でガス爆発があり多くの負傷者が出た。終業間際であったが全員待機せよとの院長の言葉に全員待機したが軽傷者が一人来院しただけだった。城北の救急開始直前だったので病床も10床以上はあった。麻酔科は私が着任した時、既に三人の医師が常駐していた。これは市民病院の中では特異なことであった。結局22時30分頃全員帰宅した。

9. 中馬市長さん

47年の春だったと思う。市長選挙も終わった土曜の午後救急当直5人とほか4~5人がのこっていた。医局で麻雀をしていたと思う。そこに中馬市長のOPが始まると誰かが言った。そっと見学に行った者がなかなか戻ってこない。やっと戻って来ると「あれはApeじゃないで」と言った。一人ずつ順番にOP室に行ったが皆緊張して帰ってきた。麻酔医から緘口令が出たのか皆、口に指をあてられたということであった。その後もずっとApeでとおしていた。担当の外科医はあちこちに市長の出張先まで点滴ピンを持って出向いていた。最後の日、外科の吉岡先生から残っておくように言われた。(私は市民Hpで行なわれる解剖例を手伝ってよいと病理教室から言われていた)結局解剖は行なわれなかった。後日11月下旬大阪城公園で市民葬が行われた。

10. 増原先生 阪大卒、奈良医大、整形外科教授 →大阪厚生年金病院長(現大阪病院)

私が城北の2年目くらいの頃だと思う。先天股脱の子供が親の転勤で奈良へ引越すので奈良医大に紹介状を書いた。それに対し丁寧な返事を下さった。あれは先生の自筆だと思う。字も読みやすかった。私は教授が返事を下さったことに感激していた。以後私は紹介状、返事は丁寧に書くようになった。

48年4月下旬、石田先生から同期生8人のうち2人、6月より研究生として大学に戻れと言われた。同期の者達は「僕等は結婚している。大学のお手当では生活出来ない。結婚してない君ならなんとかいけるだろう」と言われた。越宗先生は生活の心配のない方だったので、彼と私の二人が大学の研修生としてもどるようになった。その頃大阪市は夏のボーナスを6月15日に支給していたので6月16日より帰りますと返事した。しかし当直は既に組まれていて6月13日当直にあたっているとわれ、その夜は大学の当直をした。翌日は同期の越宗先生が当直だった。幸い何事もなかったがナースも患者さんも誰一人知った者がいないという当直は不歓迎であった。

以後は大学病院時代へ移ります。甘口、辛口ないまぜて語ります。出来ましたら乞うご期待を!!

くるま道楽 15

阪本 博史 (昭和59年入局)

【いまどきの話】

日本の技術はすばらしい。

アルファロメオの4Cスパイダーのプラットフォームは、マツダロードスターと同じで、マツダが提供しています。エクステリア、エンジンが別物なので、価格は三倍以上しています。散々「マツダの足まわりは弱い」だの、「マツダの車体は、持ちが悪い。すぐガタがくる」とか酷評されていたメーカーですが、アルファロメオにシャーシーを提供するほどに世界的に認められてきています。世界のどこのメーカーも自社でエンジン、シャーシーを開発するより、他社の優れた製品を買ってきて、自社の味付けを加えた新車を発売することが常識になりつつあります。アメリカ車；大きくゆったりふわふわで、ピストン1個ぐらい動かなくてもパワーで動かしてしまふ。いわば、「ジャンボジェットが、エンジンひとつ止まっても、ハワイくらいまでなら平気で飛べる」ようなものです。ドイツ車；メンテナンスさえしっかりしていれば、20万kmくらいは平気で走れる丈夫さがとりえですが、デザインは堅すぎます。フランス車；不思議なカタチ、用途に応じた機能性を取り入れることに優れていて、意外にもデザインは最悪か、最高かです。エンジンは今の世界基準からすると、標準以下です。イタリア車；デザインはすばらしいのですが、エクステリアを決めてから中身を作っているようで、古い型のエンジンを使い続けている車が多く見られます。エンジンの開発にかけるお金、技術が乏しいようです。イギリス車；独自開発は、ほぼありません。他所の国のメーカーの車に、自社のエンブレムを貼っただけのブランドになってしまっています。英国全体に自社開発の「機械もの」はなくなっているようです。韓国車・中国車；見事なコピー技術、大喝采です。最後に、わが日本。エンジン；優、足回り；優、デザイン；可、メンテナンスのし易さで、世界的に最も安定した性能と丈夫さを兼ね備え、価格も安い、優秀な製品です。欠点といえば、均

一化された、おもしろみのないデザイン。同じくるまなのに、車名だけ変えたバリエーション。次のクルマを売らんとする為か、パーツストックの期間の短さ。デザイン変更の頻繁さ。などで、5年から7年乗るには、世界最高のクルマたちです。世界に誇れるMADE IN JAPAN です。

【ノスタルジックヒーロー】

究極のくるま道楽です。自分の生まれた年の機械を手に入れるのは、おとこのノスタルジーかもしれませぬ。よく、時計が趣味のかたが、ビンテージの時計コレクションをしたり、カメラ好きのかたが、クラシックカメラを収集するようです。私も、生まれた年に作られたクルマをいつかは手に入れようと探し続けていましたが、流石に60年前となると、動く状態で残っているクルマは、車種も限られ、日本どころか、世界でも車種によっては数十台あるかどうかの状態です。日本で手に入るのは、ワーゲンビートルか、ベンツ、オールディーズにできそうな、アメ車くらいです。4年前にやっと見つけたのが、1959年型ジャガーマークII。4年かけて少しずつレストアし、やっと乗れる状態になりました。トランスミッションからのオイル洩れとの格闘が続いていますが、ふつうに乗れます。60年近く前のクルマですが、オートマで、パワーステアリングもついていて、エアコンもトランクに冷蔵庫のような機械があり、そこそこ涼しくなります。もちろん、エアコンの吹き出し口は、後ろの席のまだ後ろに、煙突のような管がついています。パワーブレーキのはずですが、サーボが故障しているようで、利が悪いので、マンパワーブレーキ状態。今、修理中です。英国車ですが、アメリカ輸出仕様なので、アメ車なみの装備になっているようです。パーツもアメリカで、リビルドされたものが手に入るようで、古いクルマをレストアして乗れるようにするという、アメリカのクルマ文化のおかげでなんとか再生できます。

同じ頃に生まれたクルマ；ジャガーマークII



と、医者になった年に買ったクルマ；モーガン、この2台を手に入れたことで、僕のクルマ道楽は、ひとまず休憩かもしれません。

【今回お薦めのくるま】

ミニです。いわゆるちっちゃいミニを「オールドミニ」BMWになってからのミニを「ニューミニ」と呼んでいます。ニューミニも2001年発売以来すでに3代目を数え、ボディもひとまわりずつ大きくなっています。長さで10cmずつ巨大化して、もうミニとは言えないくらいの大きさとなっています。ナンバープレートも3ナンバーになりました。ミニとはいえ、一代目をカローラとすれば、現行の三代目は、マークIIくらいに変化して

います。BMW製になってから17年。やっと故障無く信頼のおけるブランドに成長しました。ただ、値段も成長し続け、いまや、ベンツCクラス、BMW3シリーズが買えるくらい高いクルマになっています。エンジン性能は、平凡ですが、ステアリングレスポンスに優れ、キビキビ走る楽しいクルマです。特に、インテリアは凝っていて、おもちゃのようなクルマです。私立の医学部に通わせているお嬢様に与えるには、ぴったりのクルマです。例えば、うちの「すねかじり」のように…楽しんで乗っています。第2世代ミニクーパーSクラブマンに。

(写真は、1959年型ジャガーマークII)

還暦??

桑野 吉浩 (平成4年入局)

還暦なんて、他人事とっていましたが、、、今回『還暦』の原稿を書いていて、改めてもうこんな年になったのかと驚き、歳月の速さに戸惑っています。

まだまだ、若いつもりでいましたが、心や体は正直です。最近では、涙腺もゆるくなり、家でドラマを見てると、以前より涙もろくなって、涙目を妻に悟られないように一苦労します。『あっ!!パパまた泣いてたんちゃうん?もう、おじんなんだから』と言われる始末。「何を言うか!僕はまだ若いねんぞ!!」と心の中で叫んでみても、現実には成人病のオンパレード、若いもと酒を飲んで歩いてたり、息子とサッカーをすれば、ゼーゼーということもしばしば。

また、昔のことをよく思い出すようになりました。亡くなった親父は、こんな時どう考えていたんだろう、祖父母はどういう風に歳を重ねていたんだろうと、あれこれ記憶を辿ります。

ずっと昔、法事などで親戚一同が集まった際に、叔父叔母が還暦の話をしていたのを思い出します。鏡に映る自分の姿は、確かにあの時の叔父叔母そのものになっています。還暦といえば、赤いちゃんちゃんこ??そんなのは僕には似合わないだろうし、隠居を意味するようで、着る気にはなれません。

そもそもなぜ赤いちゃんちゃんこ??そこで、還暦について調べてみました。

60年で再び生まれた年の干支(えと)に一巡して戻ること。文字通り暦が還るのです。生まれた年に戻るといところから赤ちゃんに戻る、第2の人生に生まれ変わるとい意味で長寿を祝うようになりました。

赤は赤ん坊、赤ちゃんなど新生児を連想させ、かつては魔除けの意味を込めて産着に赤が使われていたことから還暦に赤い服を贈る習慣が生まれたようです。

また、本卦(ほんげ)がえりともいうそうです。この本卦の卦って、『当たるも八卦当たらぬも

八卦』のあの卦?結局占いに通ずるものなら、どうでもいいか、、、いやいや、昔からの言い伝え、還暦は厄年にもあたるので、近くの門戸厄神様にお参りしないといけないと思い直し、早速お参りしました。

そして、妻から、『一生に一度のお祝いやし、記念に何か買ったら』と言われたので、『そうだ!何か一つ記念になる赤いものでも買うか』そうやって、節目の年を迎えたことを喜び、これからの人生も頑張ることにしよう。

まだまだ子供も小さく隠居するわけにはいかないので、もう少しクリニックで、地域医療に貢献しようと思っています。

最後に、高校時代の写真と、最近の写真を提供します。



だいぶ歳とってます。

高校時代の同期の集合写真は、なんと白黒!!

左下が私、右が現在の私。同期には、サッカーで有名な岡田くん(めっちゃうまかった)。医者が3人、超有名企業の社長1名、個人事業主社長3名。

一部上場企業の取締役2名と、一緒にサッカーしてた時は、ただの高校生でしたが、、、

細野 晴臣（イエローマジックオーケストラ）

鱧永 浩（平成7年入局）

世界中のミュージシャンから音楽の神と言われている、細野晴臣をご紹介します。

イエローマジックオーケストラ：YMOのメンバーとして、知られていますが、それを立ち上げたのが、細野晴臣です。

その音楽性のルーツは、ハワイで活動していた、エキゾチックサウンド、マーティン・デニールの音楽を、何かしらアレンジしてやってみたくて思っていたようで、YMOの名曲fire crackerはマーティン・デニーが原曲です。

最近、「いい音楽というのは裏の情報が豊かなんですよね。その音楽が生まれたバックボーンやルーツを、この年になるとより一層強く感じるようになる。自分のオリジナルなんてどうでもいいと思うほどに。だから古い曲をカバーするのが好きなんです。知ってもらいたいんです、こんなにいい曲があるんだよって」

また、現代の日本のJPOPについて、「僕が若いころはなんにも考えてなかった。ただ、好きな音楽は深く聴いて、そのルーツを一生懸命調べました。音楽好きはみんなそんなものだろうと思ってたんだけど、最近ちょっと希薄だなと感じていて。今の音楽に、ルーツを土台にした「香り」がしない。ちょっと即席っぽって言うのかな」と、話しております。

細野晴臣。YMOであまりにも有名ですが、その音楽のルーツをたどることも、プラタモリではありませんが、面白いですよ。

今回、細野晴臣自身の、アルバムを二つご紹介いたします。

どちらも、曲に歌を乗せているのが、手馴れているというか、音楽を知り尽くしている感がとてもでています。カバー曲も多く、いい曲を紹介してくれています。

オリジナルの楽曲作りについては、曲はすぐできてしまうらしく、それにのせる歌詞はなかなか作るのが大変だそうで、日常に起きる何かのきっ

かけからいろんな言葉をためておいて、それをベースにして詩を構築するそうです。

曲を聴くと、耳に馴染むこと、本人が述べていたように、こんなにいい曲があるんだよ、聴いてよ、と気持ちが入められていて、オリジナル曲でも、昔からあった曲でないかと、錯覚するほどに、馴染んでます。カバー曲は反対に、オリジナルでないかと、思うほどに、細野節になっております。

かつては自分の低い声が嫌であったそうで、低音部分にエフェクトをかけて、声を変えたりしていたそうですが、近年はやっぱり、音楽は楽器だけでなく、下手でもいいから、自分で歌って表現したい、と考え方が変わったそうで、声に味がありますよ。

1. Heavenly Music (2013/05/23 発表)



1. Close to You

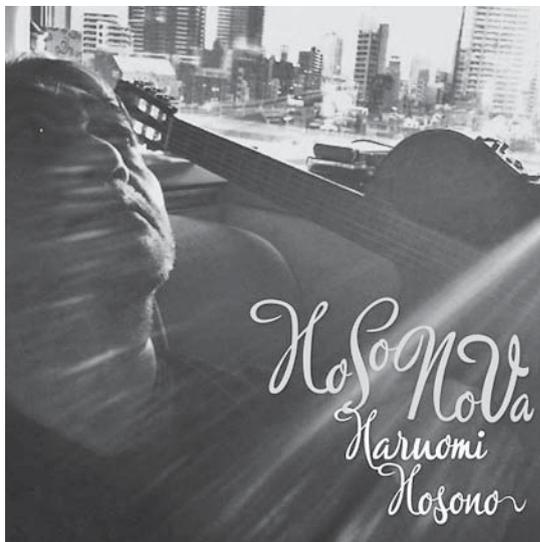
（作詞：Hal David/作曲：Burt Bacharach/編曲：細野晴臣）：原曲は1963年にRichard Chamberlainがリリースした同名曲。

2. Something Stupid

（作詞・作曲：C. Carson Parks/編曲：細野晴臣）：原曲は1963年にCarson and Gaileがリリースした同名曲。

3. Tip Toe Thru The Tulips with Me
(作詞：Al Dubin/訳詞：細野晴臣/作曲：Joe Burke/編曲：細野晴臣)：原曲は1929年にNick Lucasがリリースした同名曲。
4. My Bank Account Is Gone
(作詞・作曲：Jesse Ashlock/編曲：細野晴臣)：原曲は1947年にJesse Ashlockがリリースした同名曲。
5. Cow Cow Boogie
(作詞・作曲：Benny Carter, Gene Paul, Don Raye/編曲：細野晴臣)：原曲は1942年にFreddie Slack & his Orchestra feat. Ella Mae Morseがリリースした同名曲。
6. All La Glory
(作詞：Robbie Robertson/訳詞：細野晴臣/作曲：Robbie Robertson/編曲：細野晴臣)：原曲は1970年にThe Bandがリリースしたアルバム「Stage Fright」収録曲。
7. The Song Is Ended
(作詞：Irving Berlin/訳詞：細野晴臣/作曲：Irving Berlin/編曲：細野晴臣)：原曲は1927年にIrving Berlinがリリースした同名曲。
8. When I Paint My Masterpiece
(作詞：Bob Dylan/訳詞：細野晴臣/作曲：Bob Dylan/編曲：細野晴臣)：原曲は1971年にBob Dylanがリリースしたアルバム「Bob Dylan's Greatest Hits Vol. II」の収録曲。
9. The House of Blue Lights
(作詞・作曲：Don Ray, Freddie Slack/編曲：細野晴臣)：原曲は1946年にFreddie Slack with Ella Mae Morseがリリースした同名曲。
10. ラムはお好き? part 2
(作詞：吉田美奈子 / 作曲：細野晴臣 / 編曲：細野晴臣)
11. I Love How You Love Me
(作詞・作曲：Barry Mann, Larry Kolber/編曲：細野晴臣)：原曲は1961年にThe Paris Sistersがリリースした同名曲。
12. Radio Activity
(作詞：Ralf Hutter, Florian Schneider, Emil Schult/作曲：Ralf Hutter, Florian Schneider/編曲：細野晴臣)：原曲は1975年にKraftwerkがリリースしたアルバム「Radio-Activity」収録曲。

2. HoSoNoVa (2011/04/20 発表)



1. ラモナ
(作詞・作曲：Mabel Wayne, L. Wolfe Gilbert)：原曲は1928年に映画「ラモナ」のために書かれた楽曲「Ramona」。
2. スマイル
(作詞・作曲：John Turner, Geoffrey Parsons, Charlie Chaplin)：原曲は1954年にNat King Coleがリリースした「Smile」。
3. 悲しみのラッキースター
(作詞・作曲：細野晴臣)
4. ローズマリー、ティートゥリー [3 : 32]
(作詞・作曲：細野晴臣)
5. ただいま [3 : 26]
(作詞：星野源/作曲：細野晴臣)
6. ロンサム・ロードムービー [4 : 35]
(作詞・作曲：細野晴臣)
7. ウォーカーズ・ブルース [2 : 33]
(作詞・作曲：細野晴臣)
8. バナナ追分 [3 : 08]
(作詞：星野源, 細野晴臣/作曲：細野晴臣)
9. レイジーボーン [3 : 45]
(作詞・作曲：Johnny Mercer, Hoagy Carmichael)：原曲は1933年に書かれた「Lazybones」。
10. デザート・ブルース [3 : 57]
(作詞・作曲：Jimmy Rogers)：原曲は1929年にJimmy Rogersがリリースした「Desert Blues」。
11. カモナ・ガール [5 : 23]
(作詞・作曲：細野晴臣)
12. ラヴ・ミー [3 : 02]
(作詞・作曲：Jerry Leiber, Mike Stoller)：原曲は1956年にWilly & Ruthがリリースした「Love Me」。

ワインチレコード

宮脇 裕二（昭和55年入局）

アナログレコードには3種類あります。大きさが12インチ10インチ7インチの3種類です。12インチのものはいわゆるLPレコードとして一般的によく知られているものです。一方7インチレコードにはシングルレコードすなわちドーナツ盤と言われる1曲のみが入っているものと録音時間が片面8分程度、つまり2曲くらい入っているEPレコードと言われるものがあります。そのちょうど中間にあたる10インチレコードは片面通常3から4曲の曲が入っています。大体古い時代のレコードに多い傾向があります。これらの7ないし10インチのレコードをかけるときに、どうしても針の上げ下ろしが面倒になります。特に7インチレコードのつまりシングル版では演奏のたびに表裏をひっくり返した後に針の上げ下げを行う必要があります。7インチ盤は盤の回転スピードが45で早く、針の上げ下ろしが頻繁なために、誤って針先を痛める可能性があります。特に今はレコードの針は非常に貴重になっていますので上げ下げの時に針先を傷めると、場合によっては取り返しのつかないことになります。そこで便利なのがフルオートレコードプレーヤーであります。これはレコードを置いてただ単にスタートスイッチを押すだけでレコードの大きさを勝手に判断し針をおろしてくれますし、また曲が終了すれば自動的に針が上がって元の位置に戻って参ります。こういったプレーヤーを使うと今まで眠っていたシングル盤がまた日の目を見るようになります。今回このフルオートプレーヤーをYahoo!オークションでかなり安く落とせましたので詳細を伝えたいと思います。機種はパナソニックのSL10であります。これはリアトラッキングアームといって、横に移動する特殊なアームについたカートリッジでレコード面をトレースする特殊な形式を取っていますのでプレーヤーのサイズが極めてコンパクトにできています（写真1）。今はこの形のレコードプレーヤーは非常に少なくなっているのが残念ですが、操作はいたって簡単でレコードを置いてスタートスイッチを押すだけで、カートリッジがス

ーと横に動いて、レコードのはじめの無音部分に針先が確実に降ります（写真2）。プच्छという音とともに曲が始まるのもアナログ的でいいものです（写真3）。

ここからは私のシングルレコードコレクションを少しお見せしたいと思います。私の持っている中で一番貴重なのはビートルズの1枚目のシングル"Love Me Do"のオリジナル盤、パーロフォンの赤ラベルのもので（写真4）なかなかいい音がします。黒ラベルもありますがこれはもっと希少です。

それから、私の所有するシングル盤の中で大事なものは、私の世代に憧れであったアイドルの盤でしょうか。キャンディーズなどの歌手は除いて、女優さんで私の高校、大学時代に憧れの的であった3人、つまりアイドル御三家。最初は木之内みどりさんで、木内みどりではありません、彼女は今は竹中直人の奥様で、「刑事犬カール」で圧倒的な人気を誇りました（写真5）。私に近い年代の方に中にはかなりのファンがいるはずですが、次に「コメットさん」で有名な大場久美子さんです。いくつかのレコードはありますが、いずれの歌もあまりお勧めではありません。彼女の歌唱力に期待してはいけません。と言いつつ実はかなりの枚数のレコードを持っています（写真6）。つまり、私は、何を隠そう、大場久美子の大ファンであったのです。最後に、小林といえば、麻央、幸子ではなく小林麻美さんでしょうか。彼女の熱狂的なファンも私に友人に多く、彼女のクールな視線は今ジャケットを見てもグッと来そうです（写真7）。年齢は私より上にもかかわらず、現在もファッション誌のモデルとして活躍しています。どうでしょうか、なかなか懐かしい話でしょう。

書き出したらきりがないのでこれくらいにしますが、一家に一台フルオートレコードプレーヤーがあるとなかなか楽しいですよ。



写真1



写真2



写真3



写真4



写真5



写真6



写真7



編集後記

今回も多くの記事のご投稿を頂きありがとうございました。巻頭言は会報トップページ初お目見えの馬野副会長にお願いいたしました。今年一番のキーワード、忖度という言葉の由来につき詳細な解説をいただきました。

藤原先生からは長編のご記事をいただきました。先生のこれまでの色々なご経験をまとめられたもので、私より上の世代の先生方にはとても懐かしく、また若い世代のものにとっては戒めの言葉として受け入れていただけたと思います。次号

にその続編を企画していますので乞うご期待を。また姜先生が新しく始められた脊椎の手術術式についての解説も次号に掲載予定です。

今年は市整会45周年記念式典と祝賀会が10月15日に予定されています。それに伴い45周年記念誌を編集するのですが、会員の先生方からの記事のご投稿、アンケートへの回答がないと記念誌が立ち行かなくなります。何卒ご協力のほどよろしくお願いいたします。

広報 宮脇裕二